◆区長の基本姿勢について

業の発注を。⑤区外事業者へ

護者の登録と救援システムを

の配慮も。⑥公共事業の前倒

①区政の総括は。②区民

◆区政運営の基本的な姿勢に

身全霊を傾け区政を運営する。 区長 ①効果的に施策を展開 ダーシップが重要。決意は。 の対処を。②区政運営はリー 🛅 ①変化する社会経済情勢へ できる組織体制を築く。②全 ▼東日本大震災について

年度の財政状況の認識と国庫 ◆今後の財政運営について 協力を得て対応の充実を図る るよう支援。③関係機関等の と同様のサービスを受けられ 等の情報を提供。今後も区民 の職員派遣等で支援。②住宅 ほどの甚大な被害。亘理町へ 難所の運営の変化は。 区長 ①地域社会が崩壊する ①震災の影響も含め、今

況と今後の対応は。③区の避 応は。②区内への避難者の状 🗓 ①被災地の状況と区の対 を促進する育成策を。④練馬 ③区内事業者の入札への参加 称)産業振興会館の整備と運 駅北口区有地に建設される(仮 中 災

上

悦

栄

の計画事業を着実に進める。 余の社会資本整備総合交付金 に重要である。新たな方策を。 の活性化は、区民生活の向上 の見送りを想定。②長期計画 区長 ①厳しい状況。4億円 と今後の対応策は。②商店街 区内経済に及ぼす影響の認識 ◆区内経済の振興策について 練馬区議会自由民主党 ①震災や福島原発事故が 小企業対策強化を! の影響に対応する 村 ②熱中症対策として、家庭で 画の特長と区民への影響は。 ◆今年の夏の節電対策について

支出金影響額は。②震災の影 を図れ。 営は、産業経済団体等と連携

知。区民サービスは維持する

環境まち①臨時区報等で周

用促進策を。

過ごすより地区区民館等の利

②来館者の健康管理に配慮

◆放射線等の測定について

響による長期計画の対処は。

進める。④ニーズ調査を行い、 等の検討を開始。③積極的に を最小化。②買い物支援事業 を交換し、区内経済への影響 懸念。産業経済団体等と情報 運営方法を意見交換する。 区民生活(①消費の縮小等を

定。結果をHPで公表する。

推進構想」について ◆「ねりま未来プロジェクト

要。区の見解は。 して、「としまえん」に集客・ 併せた検討状況と今後の見通 **⑥** ①「練馬区基本構想」 収容施設を整備することが重 しは。②「防災拠点機能」と

した整備等を検討。②検討。 ①みどり、 アニメを生

①周知方法と節電実行計

間 ①測定に臨む姿勢と今後 都の判断を待たずに区独自で。 のあり方を。②測定等は国や 境境まち ①結果を踏まえ、

調査方法等の検討を継続。 小学校の校庭やプール等を測

◆中小企業振興について

③商店街の空き店舗の出店支 ②産業融資あっせん制度のさ ③より利用しやすい仕組みを 注視し、適切な対応を図る。 を図る。②地域経済状況等を 者件数の増と優良物件のリス 通年募集を。また、募集事業 援事業では審査時間の短縮や らなる充実と適切な対策を。 区民生活 ①支援施策の充実 店舗入居促進事業の充実を。 ト化の実現を。さらなる空き

◆防災対策について

①被災地に職員派遣した

検討し、事業の充実を図る。

般質問(要旨)—

将来構想は。

る。

②早期実現を目指す。 具体的な取り組みを強め ①地元住民と連携を深

区民生活をまもれ 災対策を強化し

等を行う。④⑤区内事業者優

が顕在化。見直しに取り組む。

①②初動対応等の課題

区民生活 ①不況対策特別貸

しを。⑦被災者の就労支援を。

付等を運用。②柔軟に対応し、

CT化と確実な情報提供を。

ビスを。①避難拠点の学校ー ⑩防災無線の音声自動応答サー ⑨災害時の正確な情報伝達を。

制度を周知。

③都制度と連携

慮。⑥検討する。⑦努める。 先が基本。区外事業者にも配 ◆震災対策について

想定。⑤適切に対応。⑥財政

④4億円余の交付金見送りを 新行政改革計画で明示。企画 区報・地域懇談等で説明。③ 全安心を中心に区政経営。② 区長・①行政改革を断行し安 ま未来プロジェクトの推進を ⑧長期計画の変更は。 ⑨ねり の解消と高齢者施設の増設は、 運営は。⑦保育園の待機児童 手当の対応は。⑥今後の財政 う財政の影響額は。⑤子ども の更なる推進を。④震災に伴 に政策の説明を。③行政改革

⑧検討。⑨関係機関と協議中 める。⑦目標達成に取組み中。 推計し、持続可能な運営に努

◆区内事業者支援について

①スーパーサポート融資

倉庫の内容の見直しを。 ⑥災 拠点の増設を。④避難拠点に 防災計画の見直しを。③避難 難者の対応を。⑧災害時要援 害用トイレ設置を。⑦帰宅困 大型発電機の導入を。⑤備蓄 ①震災の対応は。②地域

を。②返済期間の延長と財政

※ICT…情報通信技術

④区内事業者へ公共事

練馬区議会公明党 宮 原 ③4検討。5見直 義 彦

き周波数の活用は。③放送局 の開設・運営は。④区内大学 を検討。①基盤整備を進める。 成。⑨⑩多様な媒体の活用等 しを検討。⑥整備。⑦都等と への設置を。⑤臨時災害放送 ◆コミュニティFMについて 協議。⑧関係者と連携深め作 ①区の取り組みは。②空

> 区長室)①②使用可能な周波 局の設置対策を。

数の確保が難しい。③④検討

⑤迅速な開局に努める。 ◆新病院整備について ①病床の確保と保健医療

区長①都に見直しを強く要 ⑥新病院の早期実現を。 北口区有地の病院の位置づけ は。⑤在宅療養の取り組みを 病院の医療機能は。④練馬駅 医療機関の位置づけを。 ③2 圏内の柔軟な対応を。②防災

画で明示。⑥全力で取り組む び維持期。④⑤区地域医療計 は急性期、1院は回復期およ 請。②国や都に要望。③1院

同マネジメントについて ◆事業継続計画(BCP)と

CP策定。④推進組織を設置 今年度内を目途に見直し、B のシステム導入を検討。②③ 区長 ①都·文科省共同開発 メントの点検・検証を。 閰 ①被災者支援システムの ③BCPの策定を。 ④マネジ た地域防災計画の見直しは。 層の活用を。②実情に即し

を。③都指定避難場所のトイ への階段用避難車の貸出拡大 の作成と配布を。②高層住宅 ⑥ ①集合住宅用マニュアル ◆集合住宅の防災対策について 訓練・研修で実効性を検証。

①中小企業の環境整備を。

応は。③地域医療計画の進行 備えた病院の整備を。②基準 閰 ①救急医療や高度医療を 現性は。⑤2つの大学病院の 口区有地のリハビリ病院の実 状況と方向性は。④練馬駅北 病床数問題の状況と今後の対 ◆地域医療について

夕作成等検討。②周知方法等 危機管理 ①専用ガイドブッ 優良建物の認定と活用を。 レ対策は。④災害時地域貢献 ④検討。 安全確認・予 ネ型器具の取 ⑤今年度から 夜間消灯の見 検討する。④ り換えに着手。 年間30基の省エ 防喚起に努める。 直しを検討。⑥ 講習会等を実施

①小中学校と生涯学習施 ◆放射能の対 ①放射線 量の測定箇所と 策について

見直す。③都と協議。

◆節電対策について

安心・安全な練馬 練馬区議会公明党 内田 ひろのり

放射能測定を実施

節電実施計画に基づき取り組 ⑥高齢者の熱中症対策を。 援を。④中小事業者への節電 進を。③LED照明の普及支 む。②必要な対策進める。 推進と消灯体制の見直しを。 指導を。⑤街路灯の節電対策 陽光発電装置の設置補助の促 設の取り組みは。②住宅用太 ①平成23年練馬区 メールで周知を。⑥区民へ測 ングポストの 生活環境内の 学校プールの 測定回数の拡 定機器の貸出 源措置の要望 結果を早期に 大を。②国へ財 しを。 HP·安全安心 設置を。⑤測定 水質測定を。④ を。③降水時に 高さにモニタリ

特別区長会よ ①検討を継続。 り都に要請。 2 玉

②帰宅困難者対策には民間企 業との災害協力を。 経験を具体的に生かす方策を。 ②規制打開は を踏まえ、充

事業者等と対策協議、区内事 の意識高揚に努める。②鉄道 反映し、訓練・研修等で職員 厄機管理 ①地域防災計画に

都に強く働き 医療・保健・ の検討を開始 や区議会の意見

る。④病床制 実を図りたい。

街と共に取り組む。③地区計

サルデザインを考慮。②商店

前広場を整備する。ユニバー

環境まち ①歩行者デッキ、

ちづくりを。

重要課題。国・ かける。③策定 限の課題克服に 福祉等の連携図 病床確保の他

災害に強い街づくりと 中小企業に支援を!

『 関係機関との協議の進捗

◆「関越高架下活用計画」に 画で整備方針に位置付ける。

状況と施設整備等の今後のス

企画 活用計画を東日本高速

道路株式会社に提示し、関連

機関が調整中。26年度を目途

ケジュールを。

練馬区議会自由民主党 かしわざ 強

業者と協定締結等対策を強化 努める。⑤病 づくりについ ◆大泉学園駅 北口地区のまち 院の拡充が必要。

◆地下鉄大江戸線の延伸に関

連して

りのまちづくり整備と今後の

②駅周辺の新 ちづくりの観 通混雑の解消、また福祉のま 体を「アニメ から大泉学園 存小規模商店 🗓 ①歩行者 6の共存を。③駅利規大型商店と既 通りも加えた一 点からの考えを。 環境の向上や交 軸」としてのま 区長 進め方を。②大江戸線延伸と ◎ ①大泉町から大泉学園通

まちづくり推進の所見を。

検討。⑥慎重な検討が必要。 り迅速で充実した情報提供を ④国の基準を待ち検討。⑤よ たい。③毎月の調査時に測定 も他自治体と連携し要請

商品券の追加発行と商店会活 治体と連携したイベント開催 性化へ働きかけを。②被災自 👸 ①プレミアム付区内共通 ◆景気・経済対策について

う支援。②今後も開催。積極 区民生活 ①検討。意向に沿 的に支援。③充実に努める。 を。③行政関連の雇用拡充を。

跡施設ではニーズの高い3歳る子どもの受入れ確保を。③ 職員を十分配置し障がいのあ 未満児の受け入れ体制を。 ◆区立幼稚園適正配置について ①適正配置の考えは。②

見を踏まえ、 割を担う。③区民、議会の意 教育長 ①早急に光が丘地区 検討が必要。②引き続き役 区全体で検討

に、施設整備に順次取り組む。 平成23年第二回定例会の一般質問は、6月15日・16日・17日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧く ださい。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所東庁舎3階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

防災無線塔・安全安心パトロー 害時情報伝達方法」として、 知が必要ではないか。⑤「災

、カーの更なる活用を求め、

ギー設備の普及等に努める。 ものではない。③自然エネル

原境 ②事故と同列に論じる 26年度の施設開設を目指す。 って、事業計画を策定した。

生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム

きみがき

圭子

法は。②高齢者、障がい者、

た場合の緊急時の情報伝達方 🗓 ①防災無線に不備があっ

がい者の受け入れの運営は。 効性や福祉避難所の開設、障 護者名簿による安否確認の実 支援を考えているか。③要援 子ども、妊産婦に対する避難

行動をとり、安全確保を行う。

①文科省が示した基準

引き続き意見を伺う。

者によると見直し予定はない

なサービスや物資の提供図れ。

着実に耐震化を図る。⑤個別

と4校の補強工事を実施。④

養の増設で。

③都に用地費補

助の復活と定

期借地権方式の

にせよ。②待

訪問等で必要性を丁寧に説明。

延長を求めよ

①引き続き区民と

はしない。企画

点の「避難者想定数」は現在 護者名簿」の運用・管理方法 図ることで、より強固な防災 組織」は、民間企業やNPO 1拠点60名となっているが、 と考える。所見を。③避難拠 て、早急に見直す必要がある る。所見を。②「災害時要援 組織が確立されていくと考え の知識を生かし、区と連携を 法人等の幅広い地域性や多く ◆防災計画について については、喫緊の課題とし ①これからの「区民防災

事業者・防災機関との協働に 案するが、区の見解はいかが 拡充に努める。また、「区民・ 危機管理 ①今後も協定先の よる災害対策」をより実効性

新たに地域FM局の開局を提

実施し、円滑な受け入れのた

今後、交通管理者やバス事業

◆行政改革に対する取り組み

制全体の中で検討。FM局開 めに準備する。⑤情報伝達体

局には課題多いが、今後検討

ついて ◆公共交通空白地域の改善に

閰 ①「南大泉地域の新規み

区民主体の地域変化に

対応できる区政へ

練馬区議会民主党・無所属クラブ 石 黒 たつお

連携を深め、日頃からの支援 よう具体的な方策を検討。② ある体制作りを検討する。③ 活動等を活性化し、実行性の 防災会、民生児童委員、高齢 防災活動を担っていただける 者相談センター等関係者間の あるものとし、ともに地域の どりバス運行ルート」につい くのか。

が可能なルートの選定である 都市整備) ①課題はバス運行

東日本大震災を踏まえ検討す る。④今後も同行避難訓練を

るが、区の課題認識と今後の ては、24年度目途に西武新宿 線につなげる目標とされてい はどのように今後対処してい 至らない南大泉地域について 事業計画の予定は。②改善に

避難所の整備、飼い主への周

難」については、避難訓練、 の見解は。④「ペット同行避

必要があるのではないか。区 増加状況を考えると、見直す 阪神淡路大震災以降の人口の

男女共同参画で。⑦避難所で ④地震当日の対応がまちまち 地域防災計画に位置づけよ。 く。⑤中高生も支援の担い手。 だった学校の実態と対策を聞 の女性の相談窓口や保健師、 ⑥防災計画や災害復興体制は

地を「みどりの防災広場」に

◆区長の基本姿勢について

①今こそ練馬駅北口区有

整備すべきではないか。②非

核都市として福島原発事故に

指示。 危機管理 ⑤活動でき るよう仕組みを検討する。 ⑥ 等の改善と保護者への周知を 検討。⑦助産師会等との協働 各学校に危機管理マニュアル を分けること等を計画中。 により取り組む。⑧居住空間

3.11後、 区政の中心に

産業地域)①幅広く意見を伺

ルギー利用を進める積極的な るか。③再生可能な自然エネ よる核の恐怖をどう捉えてい

具体策は。

助産師との連携はとれているか。 確保、トイレについて十分な ⑧避難所でのプライバシーの 対策をせよ。

のマニュアルに基づき、避難 ③検討する。教育長 ④通常 やメール等を活用。②地域で の支援の仕組みづくりを検討。 機管理・①広報車等の巡回

イレは仮設トイレ等を整備 ◆放射能対策について

間 ①放射線測定を始めたが うか。③校庭の芝生化政策は も測定し、公表せよ。②内部 見直すのか。 品への測定、基準、対策はど 被曝の原因となる飲料水、食 基準と対策は。土壌や排水溝

道路整備の可能性を含む将来 者等の関係機関と検討を進め 故防止啓発活動については、 📵 飼い主のマナー改善・登 る。②車道幅員の確保が難し 録促進・狂犬病予防・咬傷事 ◆犬の飼い主マナーについて 的な課題として検討する。 いことが課題である。今後の

と連携し、情報提供や協力要 指導している。今後とも、 健康 都がペットショップを

た、今後のスケジュールは。 設を事業者と協議する。

を盛り込んだ計画を策定し、 全庁をあげて改革を推進する。 一 今後の決意と考えを。 区長)具体的な取り組み内容

👨 事業者との現時点におけ ◆練馬駅北□区有地の活用

「区政の情報発信の充実」

月増加。今後も活用したい。

理解度は。また、周知を

請を行っていく。

度の施設開設を目指す。 協議中である。また、地域の 病院を移転する方向で病院と 活性化が図れるような商業施 る協議の状況と、所見を。ま 区長事業者が同じ医療圏の

携を図り、取り組んではいか 区内のペットショップ等と連 イッターの閲覧登録者数は毎 行や避難所開設等を掲示。ツ 区長室①HP等に鉄道の運

練馬区議会自由民主党

上

野

ひろみ

屋外夜間照明施設の整備も要

グラウンドの有効活用のため

主

義

一般質問(要旨)— 提案するがいかがか。さらに ②他自治体も参考にして検討。 区民が利用できる、チェック ◆「ネット依存症」について

測定を実施している。環境 ③今後も芝生の整備に努める。 を適用。健康②都や産地が ◆まちづくりについて

直せ。②外環は凍結し、人手 直しが必要。地域住民と見直 資材、財源を復興に集中すべ 環境を優先し、道路計画を見 再建の可能性等を検討中。 都市整備) ①中学校の現在地 き。③関越道の耐震基準も見 しの場を設けよ。 ①大泉第二中学校の学習

防災上の重要度が高く、凍結 ③維持管理 国に支援強化求めよ。②必要 福祉・防災最優先の区政を。 に強いまちづくりを進める。 開発優先の長期計画を止め、 ◆被災者支援について ①区内避難者の実態調べ、

築。企画 ②行革による財政 子育てなどの基盤強化を。③ な対策を。②福祉切り捨ての 力で福祉政策を推進。③災害 防の見地と正しい想定で十分 **じ** ①大震災の教訓から、予 「行革」をやめ、介護、医療 ①万全な防災体制を構

◆区長の基本姿勢について

閰 ①地域防災計画を見直せ。 ③小中学校の耐震化を最優先 国や都に区民等の意見上げよ。 ②災害想定は実態に合うよう、 ◆防災対策の強化について ②必要な支援の実施に努める。 同様のサービスを提供する。 リストの作成を。 福祉· 日本共産党練馬区議団 間 ①原発ゼ 環境①国に 増と太陽光発 立施設の自然 数増やし、土 グラムを。② ◆原発問題に うに対応して

③今年度中に1校の建て替え

災害弱者支援を強化。②都が 作成。動向を注視。都市整備 危機管理・①計画の見直しで の周知強化と制度拡充を。 前倒しせよ。⑤耐震改修助 せよ。④区立施設の耐震化を 大震災の教訓に学び、 防災の区政へ 有 電の普及拡大 結果を踏まえ、 政策の見直し 設備の導入を しつ実態に ◆特養ホーム

聞くが、現状を。②高齢者等 シャルメディアを活用したと イミングは。また、民間ソー 計画停電等の情報の手段とタ の情報弱者への対応の充実を。 始めよう!区民第一

について ①大震災の帰宅困難者や

は国や都の施 学校で実施。 ルギー利用」 ◆「生ゴミの について 報モラル研修を

な

🛅 新たなり

して、発電な

ど、生ゴミの利 策を注視し検討。 チェックリスト サイクル事業と ハイオマスエネ ②空き家を解消し、生活の安

全を取り戻すために、法的 調査・研究に着手を。 も人工芝のグラウンドの整備 閰 ①スポーツ愛好者の為に 解決策を協議している。②法 危機管理 ①相談は69件。 的な対応策を調査研究する。 を要望するがいかがか。また、 ◆区内スポーツ施設について 係部署による連絡会を設置し

進事例を調査し 観点から広域的 可能性等を検討 設場所等の課題 充実を。③総合体育館の再整 教育長 ①長期的な観点から 備にあたっては50mプール設 置の実現を。

効果や経費の

がある。先

境境まち

建

な共同処理の

むべきと考え

るがいかがか。

用方法につい

て次の段階に進

振興事業に対する助成制度を 望するが所見を。②スポーツ

活用し、スポーツ施設の整備・

いるのか伺う。 存在し、どのよ 概ねいくつぐら 的に導入し、一層の施設整備 に努める。③基本計画で検討 の意見も踏まえ検討。②積極 導入を検討。照明施設は区民

いの空き家が

🗓 ①区内に

「区内の空

き家対策」

エネルギー発電 口の期限付プロ 電への補助増を。 壌調査も。③区 放射線測定は回 よるエネルギー 年、 ②面積基準の引き下げをやめ 等で検討。②施設整備と在宅 テムの中止を求めよ。 よ。③保育の質落とす新シス サービスを充実。③要望した。 ◆認可保育園の増設について 昨年の規模で今後も行え。 ①認可保育所の増設は今 ①高齢者保健福祉計画

討。②③検討状況等を注視。 果を検証し、今後について検 児童青少年(①定員拡大の効

が必要。②測定 保険料を引き下げよ。 📵 区独自で低所得者などの ◆国民健康保険について

図る。太陽光発 検討。③発電 平性の観点から困難である。 区民財政面および負担の公 ◆医療問題について

機者解消策は特 見合う整備目標 の増設について の対策を進める。 討状況を示せ。②医療圏見直 しの具体策を示せ。 ①新病院の整備場所の検

選定にめどをつけるべく努力。 ②都に見直しを強く求める。 健康福祉(①今年度中に用地 ついて

◆災害弱者の防災対策について

者の相談窓口を。③在宅療養

患者へ自家発電機の貸出しを。

体の取り組み等を調査し検討。 防災ラジオを無料配布すべき。 配布すべき。②視覚障害者に ツト助成や防災ずきんを無料 **過 ①要援護者に防災救急キ** 健康福祉 ①検討。②他自治

っている。③課題と認識。

◆東日本大震災の被災地と被

工の啓発に努める。②都の助

成制度活用等、支援制度の拡

講じる。②保健相談所等が行 健康福祉 ①燃料確保対策を

> と建築基準法との調整をすべ 改修工事の支援を。③耐震化 化対策を推進すべき。②耐震

き。④区立施設の耐震化を。

都市整備) ①引き続き工事着

災者への支援について

災害弱者のさらなる支援と

住宅の耐震強化を

早期開設と直接避難の体制を。 制の構築を。②福祉避難所の ③福祉人材の確保を。④区民 ◆福祉避難所について 健康福祉 ①実効的な対策を 、福祉避難所の周知徹底を。 ①災害弱者の避難誘導体

の確保と停電対策について ◆災害時におけるガソリン等 整備等を検討。④周知を図る める。③支援要請先リストの 設の開設手続き等の改善に努 よう福祉避難所指定の福祉施 す方が安全。早期開設できる 検討。②まず避難拠点を目指 へ優先給油を。②在宅療養患 ①公益性の高い事業者等 を継続。都市整備 ③被災地 区長
①②必要に応じた支援 ◆練馬区耐震改修促進計画に の復旧状況等を勘案し、対処。 避難者への住宅提供の継続を。 続きの支援を。②風評被害や 被災地支援の強化を。③区内

東日本大震災でお亡くなり

欲しい。②区民税収入につい の確保や権限の移譲を伝えて ての対応は。

税財源の充実等を国に要望。 企画 ①区長会を通じ、地方 国庫支出金について、本区よ

故情報の開示などの不安があ

間 子どもたちへの影響や事

国に直接意見を送付。② 定してはどうか。②区民農園 と市民農園でも測定を。 チだけでなく10センチでも測 る。①測定場所は地上50セン

①②調査方法や対象に

のスキルアップを図る。

強化について

①防災計画やマニュアル

◆東日本大震災と防災対策の

復興を祈念致します。 意を表し、一日も早い復旧、 になられました方々に哀悼の

ついて

①分譲マンションの耐震

率10%になるよう進める。 る。区長 ④27年度に耐震化 図れるよう可能な改善に努め 充を図る。③耐震化の促進が りについて ◆高齢者にやさしいまちづく

出木 ①検討する。②新たな ②急な坂道に手すりの設置と さらなる安全性の向上を。 ₿ ①歩道にベンチの設置を

①宮城県亘理町への引き

練馬区議会公明党

西

野

幸

うる対応を積極的に図る。 教育長 ②検討する。③取り 児童青少年)①新たな放課後 の居場所づくりを検討する。

閰 対象者を拡充し、さらな 支援事業について。 ◆ひとり親家庭等の在宅就業 路面整備の手法を検討する。

児童青少年 先行自治体を調 フの人材確保を。③夏休みも 解消を。②学校応援団スタッ ①学童クラブの待機児童 づくりについて ◆子どもの放課後等の居場所 査し、効果的なあり方を検討 る在宅就業支援をすべき。 ひろば事業の実施をすべき。

庁舎開放。庁舎は耐震性能を らの進入が目的。③震災当日 は40人超を受入れ、翌朝まで 導で整備。消防隊等の屋上か

1m幅の狭い階段が続き重傷 不適合。②屋上へリポートは 築を区民に釈明し改修を。 ④ で出来ず、更に高層庁舎は激 災時に帰宅困難者収容も違法 人々の集合場所として消防法 揺れで倒壊の恐れも。違法建 者担架搬送も不可能。③大震 ①建設時から15年もの間

適法に行っている。②国の指 企画 ①消防署に届出を行い

危機管理センター機能も疑問。

◆アトリウムが消防法不適合

ベリー等の放射能の独自調査 キャベツや観光農園のブルー

都民に供給する生鮮野菜の

維持管理者が

適切に対応。

中

区民福祉

オンブズマン練馬

土屋

O

重傷者搬送不能

区庁舎屋上ヘリポー

◆原発放射能調査測定器なし

災害対策本部を開設、迅速か 区長。④発生直後、速やかに 性認識し、危機管理にあたる。 産を守るため初動対応の重要 つ適切に対応。区民の命と財 15倍で設計、顕著な被害なし。

高齢者センタ 地震に「絶対 はいかにも高 架下の高齢者 約だ。暗く危

を取り壊す契

企画 経年劣 用地無料というだけの理由で 化については、 齢者を愚弄。大 センター計画が 安全」は無い。 険で不健康な高

> ら対応の方針が示されている。 安全配慮を強く求め、 ◆今回の区議選でも選挙違反 巻 管 理 部市整備 違反が絶えない。 実情見極め、引続

き法令遵守徹底の対策進める。 ◆区内業者限定入札は不公正

企画 区内事業者優先の取り 用を阻害するのは避けよ。 公平入札と公費の有効活

●区西部に50床の2病院? 無し。区民は誘致条件を監視。 引き続き適正な運用に努める。 扱いは必要な施策と考える。 新病院計画は割当病床数

区長は出席し相互理解すべき。 傲慢な態度に住民は苛立つ。 的に審議せず既定の事実扱い。 ◆担当職員の傲慢な態度 健康福祉 **郁市整備** 地区計画説明会で、一方 今後詳細に検

◆外環道建設は再検討を

域資源の有効 上のための施 財政の厳しい

活用が必要。

設整備には、

地 向 区

般質問(要旨)— 壊し人命に関わる事態も予想 ◆関越高架下橋脚が強度不安 検査結果等は速やかに周知。 環境都が都内全域で検査。 と区民への情報提供を。 **橋脚にヒビが入れば5億円の** 40年経過し強度低下で倒

排ガス環境被 不明確さ、区 火災、巨額建 ◎ 恐ろしい

民だけが受ける 設費算出基礎の 大深度トンネル

や都に区民の

立場で要求を。 害等が予想。国

るべく相互理解図るよう努力。

練馬区議会みんなの党 出 ついて測定結果を踏まえ検討。 かずよし 学4年生以降の放課後対策を。 ブの延長保育の拡充を。②小 児童青少年 ①運営業務の委

な課題も浮かび調査・検証中

区長①今回の大震災で新た

引き続き普及活動を。 況が東京都平均よりも低い。 馬区は、火災警報器の設置状 あり方の認識と対応を。③練 類の見直しを。②避難拠点の

H

んなの声が活かされる区政を

ができるように。①学童クラ **間 安心して働き続けること** ◆子育て支援について

先に、計画を全面的に見直す。 区民の命と財産の確保を最優

に機管理(②避難所及び防災

収納対策の強化、交付金制度 の積極的活用などに努める。

画は。②電力節電のため一般 ◆LED照明の普及について ①公共施設での設置の計

等に設置中。②検討する。 みてはいかがか。 家庭への購入助成を検討して ◆放射能の測定について 環境
①トイレ照明や誘導灯

◆練馬区の財政について 実施。普及啓発に取り組み中。 ③消防署と連携した相談等を になるよう働きかけ等を強化。 活動の拠点。拠点活動が活発

などの地方団体を通じ、財源

①政府に対して、区長会

◆福祉政策について 🛅 一人暮らしの高齢者への

を深める。また、ボランティ ワーク事業の拡充を。②高齢 支援は重要。①見守りネット 福祉①参加機関の相互連携 者見守り訪問事業の充実を。 ②講習や研修の実施で訪問員 ア団体等に参加を呼びかける。

託化により拡大している。② ば事業が連携し取組んでいる クラブ事業と学校応援団ひろ

だ対応できていない世帯があ 対応完了。②今後も周知する。 ると思われる。再度の周知を は。②高齢者世帯など、いま ◆地デジ化への対応について ①公共施設での取り組み ①6月末には全施設で

5月27日に提出しました。

及び 「未臨界核実験」 「類似の核実験」 中止を求める要請書

国であることから、多年にわたり、全世界に核兵器の廃絶を求め、ま

練馬区は、昭和58年(1983年)10月3日に、すべての核兵器の

廃絶と世界の恒久平和を願って、「非核都市練馬区宣言」を決議い リスが行った核実験に抗議し、即時中止を求める要請も行ってきま した。また、北朝鮮が行った核実験についても、厳重に抗議するとと もに、核実験を今後行わないよう強く求める決議をいたしました。 貴国は、平成21年(2009年)4月にプラハにおいて、「核兵器の

ない世界をめざす」と宣言したにもかかわらず、新型の核性能実験 を行ったことは、核兵器の維持、開発につながる恐れがあり、誠に遺 憾であります。

よって、本区は、貴国が今後、一切の「未臨界核実験」及び「類似の 核実験」を即時中止し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に先 導的役割を果たされるよう強く要請いたします。

平成23年(2011年)5月27日

▷ あて先:アメリカ合衆国大統領